

第十回同窓祭

同窓祭実行委員長
丸山一至朗

新年、明けまして、おめでとうございます。

昨年、十月七日、第十回片貝中学校同窓祭を片貝小学校体育館で開催いたしました。今回は脳外科博士の恩田清氏（にじ会、新潟脳外科病院副院長）による「貴方の健康、本当に大丈夫ですか？」と題した講演会をメインに第二部を会員相互の親睦を図る親睦会を設営しての開催でありました。幸いにも当日は三百人を超える聴講を得、懇親会も北体育館に溢れんばかりの盛況となり、秋の夜長、交わす杯



は喉を潤し、話題は片貝祭りから町政までに及び、これを芸能保存会の皆さんが盛り上げてくれるという状況でした。

最後に開催に当たり、ご協力を頂いた、小・中学校、同窓会役員をはじめとする関係各位に感謝申し上げます、来年度、担当される「つぐみ会」さん、「友心会」さんに心から、エールを送ります。

第21回片貝町民駅伝

若杉会
本田 繁男

四十二歳厄年満願、浅原の杜に満天の星へ轟く大煙火を打上げ、これからの人生を健康で過ごせればとの願いと意気込みが二十年続くスタートであった。

二チーム編成で走ったりもし消防車に尻を押されての完走、沿道からはそれでも走っているのかと云われもしながら、参加する意義ある証しを示す事の出来る場が駅伝大会でした。

好きな分野の愛好会で活動するのが若杉会の真骨頂である。毎年、祭りが終われば練習開始、走る人も応援団の意気も大変なもの、全コース自転車で明りを照らし続ける者、雨で今夜は走る事なかりと晩酌済ませて

から走るなど、想えば苦しみより楽しさ溢れる練習日、それもその後「あおきや」さんで一杯やりながら笑いの絶えない会話、二十年間変わらぬ支援に感謝。継続は力なり！これからの片貝を担う若き皆さんに期待致します。



まつり半纏展

吉原 正明

昨年の11月3～5日の3日間、けやき園忍字亭において、片貝総合文化展特別企画「片貝まつりを語るまつり半纏展」がハッピーなほっぴが勢ぞろい」が開催されました。各同級会や各町内のはっぴ約50点が一同に集められ、3日間で約850人の方々が訪れました。はっぴにも時代によって様々な種類がありました。

初期のものは色も地味で生地も薄いものでしたが、その後、色やデザインも華やかになり、近年では生地も厚くて、色も落ち着いた感じのものが多く、また長半纏が流行ってきているようです。はっぴを通して、まつりの歴史と各同級会の心意気を感じ取る事ができました。本事業にご尽力くださった片貝公民館と、快く貴重なはっぴを貸し出してくださった各同級会の皆様に感謝申し上げますと共に、是非来年以降も継続して開催して下さるようお願いいたします。



平成十二年度活動報告

事務局長
久賀 透

昨年の八月の総務委員会にお

いて、同窓会規約の一部が改正され承認されました。第五条（役員）の項において、従来の庶務、会計、幹事若干名から、幹事六名、会計一名、会計監査二名に改められました。幹事の六名については、同窓会活動を広く各同級会に知ってもらい同級会活動が活発になればということで、同級会を代表して三十三才、四十二才、五十才の各厄年記念事業を終えた同級会二学年より選出してもらいます。任期は二年でお願いすることとし、本年は改正初年度となるので変則として上の同級会は一年任期となります。また会計監査については、会費の運営をより透明化しきちんとした会にする為に新しく設けました。

編集後記

この度念願の同窓会報が出来上りました。尚次号からは各同級会の自己紹介、自慢話等を掲載予定です。役員が原稿依頼をお願いいたしましたら、よろしく執筆願います。